

曾於市のまちづくりに 対する提言書



ここ(曾於市)がいい! ここに住みたい!
子どもが魅力を感じ、夢を持てるまちに…

「各地域の振興及び均衡ある発展等を図るために、必要な事項を調査・審議すること」を目的に設置された、まちづくり審議会の委員17人で、「第一次曾於市総合振興計画」等を参考にしながら6回にわたる審議を積み重ね、市民の視点で新市のまちづくりに対する意見を出し合ってきました。そして2月23日には市長に対して「曾於市のまちづくりに対する提言書」が提出されたことから、その内容を掲載します。

【基本方向1】

快適で安心して暮らせる

まちづくりのために

市内の道路は大隅や財部地域の整備が遅れており、農業用車両の大型化に伴い通行に支障をきたしている路線が多数ある中で、交通事故防止や農業振興のために市道等の整備を望みます。

また、青少年や高齢者を犯罪から守るために、市民パトロールなど見回り活動の推進に積極的に取り組んでいただくとともに、防犯や衛生環境整備の面から空き店舗や空き屋(廃屋)等を解消する施策を要望します。

あわせて管理されていない森林の保全は、防災のうえでも重要であるので森林の整備が進む施策を要望します。

高齢者の生活の安全を図り、若者の定住を推進するために、高齢者のみの世帯の空き部屋を利用した、間借り推進事業を提案します。

【基本方向2】

個性豊かな教育と

文化の香るまちづくりのために

未来を担う青少年が郷土愛を育むように、小・中学生に本市の歴史や史跡等を学ぶ学習や自然体験教育、農業体験交流を推進されるよう要望します。

学校・家庭・地域社会の連携をとるために教職員住宅を整備し、学校の先生方が地元に住むような施策を望みます。

本市には、複式の小規模校が多いので、児童数の減少に歯止めをかけるために山村留学や特認校制度への取り組み、また小規模校の特色を生かした教育を推進されることを要望します。

【基本方向3】

健やかでともに支え合う

福祉のまちづくりのために

乳幼児医療費の助成や出産補助など少子化対策には力を入れていただいています。さらに曾於市独自の妊婦健診の無料化など出産・育児に対する助成を要望します。

財部には、北保育所、南保育所の2つの市立保育所がありますので存続を要望します。

また、子供と高齢者が触れあうことは大切なことであり、学校や地域で郷土芸能の継承などで、高齢者と児童・生徒が触れあう機会をつくっていただくよう要望します。

また、高齢者の生きがいづくりのため、各校区単位の生涯学習の推進や学校の教育課程に高齢者のさらなる活用を図っていただくよう提案します。

訪問看護ステーションが、財部にはないので、在宅での看護が充実する支援を要望します。

【基本方向4】

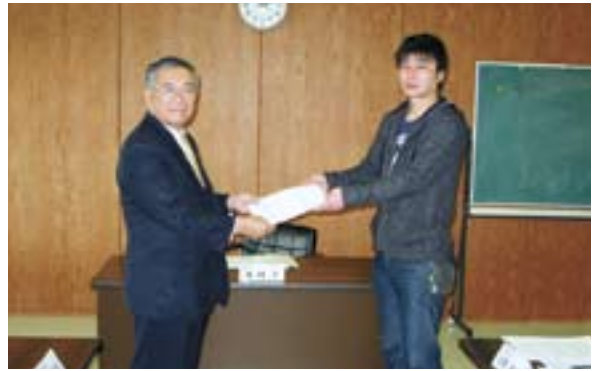
人と自然が共生し地域資源を

生かしたまちづくりのために
人口の減少が進んでいる本市

まちづくり審議会委員

(敬称略)

地区	氏 名	地区	氏 名	地区	氏 名
末吉地区	川野 俊文	大隅地区	木ノ下俊将	財部地区	米満 崇
	堀留美津子		杉永まち子		橋本 絹代
	山口 裕之		吉川 和敏		坂口ハツエ
	西山伊津子		和田 弘幸		田口 輝敬
	竹石 徳子		西山美代子		久木野広誠
			加塩 孝一		今村 美喜



2月23日、まちづくり提言書が手渡されました。

は、企業誘致や定住促進は重要な施策のため、高速道路などの交通体系や情報通信網の整備など、企業が進出しやすい環境を整えるよう提案します。

観光について

農業を生かした観光施策として、都市の青少年を受け入れて農家等に民泊するグリーンツーリズムや遊休農地等を利用した体験型農業による都市との交流を、積極的に支援する施策を望みます。また、財部の白鹿岳など市民でさえまだ行ったことのない市内巡りなどの企画をし、まずは市民に知ってもらう方を提案します。

農林業商工業の振興について

農業は、特産品である白菜・ユズ・茶・スイカ・肉用牛など曾於市ブランドのPRに努めるとともに、新規の農作物の推進を要望します。また高齢化によって荒廃の進む農地を守るため、集落営農の推進や後継者育成など積極的な農業振興の施策を望みます。また季節によって労働力不足が生じているので、シルバー人材センターの一時増員などの施策を要望します。地産地消の取り組みとして学

校給食の食材に地元農産物が使われていますが、安全な給食が提供されるためにも、一層の利用を要望します。

林業においては、森林の全伐が無秩序に行われ、伐採後の植林がなされていないので、地球温暖化防止、災害予防の観点からも市民の意識改革を行い、植林推進の施策を要望します。

また近年の景気後退により商工業の経営は大変厳しいため、経営安定のための施策を要望します。

【基本方向5】

住民参画による

協働のまちづくりのために

旧3町で組織されていた各種団体が統合され、統一した取り組みをされていますが、祭りや式典などが末吉地域集中とならないように配慮してください。小さな祭りなどが地域で開催されることで、大隅地域や財部地域も活性化されるので、末吉以外の地域が活性化される方を要望します。

豊かな自然を生かし、美しい曾於市をつくるため、また地球規模での環境保全のためにも

ノーマイカーデイを設置し、二酸化炭素削減の取り組みを提案します。また、この取り組みが思いやりバスの利用者増にもつながるのではないのでしょうか。

共生・協働の地域社会づくり

地域課題の解決は、住民が自ら創りあげ、自ら行動する意識を芽生えさせることが大事であり、住民が主体的に取り組む意識を持つことが大事です。

多くの地域づくりリーダーや青少年指導者を養成するため、地域づくりや青少年指導の資格取得の費用を助成する指導者育成支援を要望します。

私たちは、今年3月31日をもってまちづくり審議会委員としての任期を終えますが、曾於市に住んでいる人が自信を持って「ここ（曾於市）がいい！ここに住みたい！」「子どもが魅力を感じ、夢をもてるまち」をつくるのが大事であると考えます。また、住民と行政が連携し「住民参画による協働のまちづくり」が推進されることを祈りながら、これまでに出された意見を今後の市政に反映させていただきますようお願いいたします。